

様式第2号（第5条関係）

平成25年8月5日

政 務 活 動 報 告 書

栗山町議会議長

鶴 川 和 彦 様

栗山町議会議員

大西勝博

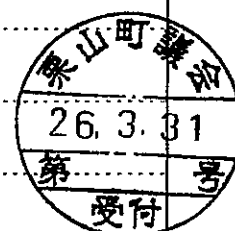


このたび、下記のとおり調査いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成25年7月26日～平成25年7月28日まで
- 2 旅 行 先 東京都千代田区 法政大学（市谷キャンパス）
- 3 目 的 市民と議員の条例づくり交流会議2013（夏の全国大会）
- 4 関係書類 別紙のとおり

日 時	平成 25年 7月 26日 15:00 ~ 18:00
視 察 先	衆議員 議員会館
調査事項	
対 応 者	衆議院議員 稲津久氏 渡辺孝一氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	両代議士の議員会館室を訪問した。 北海道10区より選出された両代議士の近々の国政活動の報告を受けると共に、栗山町のかかえる問題等について意見交換をした。 特に TPP問題については、栗山町議会として断固反対の意志を伝え、今後の動向に注視すると共に、国政レベルでの、我々と同じ考えであることを聞き、分かっただけむのこ、確信した。



日時	平成25年7月27日 13:30 ~ 18:00
視察先	平成25年7月28日 9:30 ~ 15:00 法政大学
調査事項	議会改革
対応者	市民と議員の条例づくり交流会議長
1日目	全体会で「市民と議会の現段階での到達点」と題し 長野 基氏(首都大学教授)、廣瀬克哉氏(法政大学教授) の講演を聞いた。 ・議会改革については、全国で何らかの検討をしている 議会が74%にのぼり、議会改革への関心がい 強いと感じた。 ・議会基本条例の策定では全国で37/議会(20.7%) との事で、除々に広まるか広がりを見せている感い ろと共に、制定が目的ではなく、活かす事の大切さを 再認識した。 議会事務局の増強については、機能強化の観点 から必要と考える議会が少なく、増員している所が 少ない。 政策形成の為に事業施策計画の評価点検 についても、行なった議会が少なくない。
2日目	「復興の地域統治をつなぐ自治体議会」と題し コーディネーター 饗庭伸氏(首都大学教授) 問題提起者 宮城孝氏(法政大学教授) 復興自治体 伊藤力也氏(岩手県大般渡市議会) 小黒敬三氏(福島県浪江町議会) 菊地広人氏(岩手県復興センター) コメンタリー 中尾 修氏(東京財団研究員)



各自給体からの復興に向けた取り組み報告を受け、災害への対応、地域住民へのケアについて、議会としての冷静な行動が必要であると感じました。